

Intune を利用した Windows アプリの展開

鈴木 大二郎

アドバンスドクラウドエンジニアリング事業部

はじめに

Microsoft Intune とは、クラウドベースでデバイス管理を行うためのソリューションです。Microsoft 社が提供する EMM (Enterprise Mobility Management) であり、組織のリソースへのアクセス管理やアプリ・プロファイルの配信など、デバイス管理を簡素化します。主な機能として以下のようなものが挙げられます。

管理内容	Intune の機能
展開とプロビジョニング	Windows Autopilot を利用したキッティング自動化
ID と認証・認可	Entra ID ユーザーベースでのライセンス管理 条件付きアクセスによるクラウドサービスへのアクセス制御
デバイス構成	ポリシー/プロファイル設定 アプリ管理
更新とサービス	更新プログラムの管理

本書では、Intune の管理機能のうちアプリ管理（Mobile Application Management =MAM）、その中でも Windows の Microsoft Store アプリとインハウスアプリの社内や組織内への展開について詳しく見ていきます。

MAM を使用したアプリ管理の有用性

Intune による Windows アプリの展開について説明する前に、MAM を使用したアプリ管理を行うことの有用性について説明します。アプリ管理の有用性として、以下のものが挙げられます。

- **セキュリティの強化**

不正なアプリのインストールを防ぐことで、デバイスやネットワークのセキュリティを強化します。これにより、データの漏洩やサイバー攻撃などのセキュリティ侵害を回避できます。

- **業務効率の向上**

業務に必要なアプリのみを許可することで、従業員が業務に集中できる環境を整えることができます。

また管理者は、従業員が利用するアプリの一覧や、デバイス毎のインストール状態の確認など、リソース管理を簡略化することができます。

- **コンプライアンスの遵守**

業界で定められた規制や企業ポリシーに従ったアプリのみの使用を従業員に許可することで、組織が罰則や法的措置を受けるリスクを最小限に抑えることができます。

- **コスト管理**

アプリのライセンス管理を一元化することで、使用されているライセンス数を正確に把握し、過剰なライセンス購入を防止できます。さらに、未使用ライセンスを他の従業員に再配分することで、無駄なライセンス費用を削減し、コストを削減できます。

また、アプリの使用状況を監視し、管理者権限による不要なアプリの削除が可能です。

このようにアプリを管理することには、管理者とユーザー双方の業務効率化やセキュリティ強化など、様々な有用性があります。

Microsoft Store アプリの展開

Intune から Microsoft Store アプリを展開する大まかな流れは以下の通りです。

1. Intune の管理画面から、登録するアプリの種類で「Microsoft Store アプリ (新規)」を選択します。
2. アプリの検索バーが表示されるため、展開したいアプリの名前を検索・選択します。
3. [アプリ情報]タブで、アプリ名・説明・カテゴリ等の情報を入力します。また、インストール動作（システムコンテキスト/ユーザーコンテキスト）を選択します。
4. [割り当て]タブで、割り当ての種類・グループを選択します。割り当ての種類は「必須」「登録済みデバイスで使用可能」「アンインストール」の3種類があり、強制的にデバイスへインストール/アンインストールさせるようにすることも、管理者権限を持たないユーザーが任意でインストールできるようにすることも可能です。

上記の流れで Intune から Microsoft Store アプリを展開することができます。管理者権限を持たないユーザーに対して必要なアプリを展開できるほか、Microsoft Store の利用を禁止し、展開したいアプリのみ登録するといった使い方も可能です。

なお、管理画面で選択できる Microsoft Store アプリには、「Microsoft Store アプリ (レガシ)」というものもあります。このアプリを展開するには、Web 版のストアアプリサイトから「Intune のリンク URL」を取得し、管理画面で登録する必要があります。新規版と比べ登録するための工数が増えるうえ、中にはリンク URL を持たないアプリも存在するため、Microsoft Store アプリは新規版を使用することが推奨されます。

インハウスアプリの展開

インハウスアプリとは、自社製や社内専用アプリのことを指します。ここでは、exe 形式のインストーラーや、スクリプトを使用した配布アプリを扱います。インハウスアプリを展開するには、Microsoft Win32 コンテンツ準備ツール (IntuneWinAppUtil.exe) を使用して、インストーラーを専用の intunewin 形式に変換する必要があります。intunewin 形式への変換は、以下の手順で行います。

1. IntuneWinAppUtil.exe をダウンロードします。
2. IntuneWinAppUtil.exe を起動します。
3. コマンド入力画面が表示されるため、以下の項目を入力します。

項目	入力内容
Please specify the source folder:	インストーラーを格納したフォルダを指定
Please specify the setup file:	変換対象のフォルダ内のインストーラーファイルを指定
Please specify the output folder:	保存先のフォルダを指定

Do you want to specify catalog folder (Y/N)?	インストールに必要な追加のファイルや情報を含めるフォルダを指定（基本的に「N」を入力）
--	---

intunewin 形式のファイルを作成したら、以下の流れでインハウスアプリを展開できます。

1. Intune の管理画面から、登録するアプリの種類で「Windows アプリ (Win32)」を選択します。
2. intunewin 形式のファイルをアップロードします。
3. [アプリ情報]タブで、アプリ名・説明・カテゴリ等の情報を入力します。
4. [プログラム]タブで、インストールコマンド・アンインストールコマンドとリターンコードの設定を入力します。
5. [必要条件]タブで、インストールをサポートする OS のアーキテクチャ情報等を入力します。
6. [検出規則]タブで、インストールの完了判定の情報を入力します。
7. [依存関係]タブで、登録するアプリを利用する上で他に必要な別アプリなどの情報を入力します。（スキップすることもできます）
8. [置き換え]タブで、登録するによって置き換えられる別アプリの情報を入力します。（スキップすることもできます）
9. [割り当て]タブで、割り当ての種類・グループを選択します。割り当ての種類は「必須」「登録済みデバイスで使用可能」「アンインストール」の3種類があり、強制的にデバイスへインストール/アンインストールさせるようにすることも、管理者権限を持たないユーザーが任意でインストールできるようにすることも可能です。

上記の流れで Intune からインハウスアプリを展開することができます。Microsoft Store アプリと比べて設定項目が多く、専用のファイルを作成する必要があり、少し手間はかかります。しかし、アプリをインストールさせるだけでなくスクリプトの配布も可能なため、より幅広いニーズに応えることが可能です。

おわりに

今回は、Intune による Microsoft Store アプリとインハウスアプリの展開について説明しました。今回説明した内容以外にも、Intune のアプリ管理においては Web アプリや基幹業務アプリの展開に加え、モバイルデバイス (iOS/Android) のストアアプリ、macOS のアプリ管理等も可能です。

また「はじめに」で触れたように、Intune にはアプリ管理以外にも様々な機能が存在します。本書をお読みいただいた方にとって、少しでも Intune やアプリ管理の理解を深める手助けとなれば幸いです。

引用文献

- [1]Microsoft Intune とは | Microsoft Learn
(<https://learn.microsoft.com/ja-jp/mem/intune/fundamentals/what-is-intune>)
- [2]Microsoft Store アプリを Microsoft Intune に追加する
(<https://learn.microsoft.com/ja-jp/mem/intune/apps/store-apps-microsoft>)
- [3]Win32 アプリ コンテンツのアップロードを準備する
(<https://learn.microsoft.com/ja-jp/mem/intune/apps/apps-win32-prepare>)
- [4]生産性とセキュリティを向上させるアプリ管理 / Scalefusion
(<https://blog.scalefusion.com/ja/%E7%94%9F%E7%94%A3%E6%80%A7%E3%81%A8%E3%82%BB%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%AA%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%92%E5%90%91%E4%B8%8A%E3%81%95%E3%81%9B%E3%82%8B%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA%E7%AE%A1%E7%90%86/>)
- [5]アプリケーション管理(AM)とは? / IBM
(<https://www.ibm.com/think/topics/application-management>)
- [6]国井 傑、新井 慎太郎、大須賀 謙太,“ひと目でわかる Intune 改訂新版”, 日経 BP,2022

GSLetterNeo Vol.196

2025年1月20日発行

発行者 株式会社 SRA 技術本部 先端技術研究室

編集者 熊澤努 方学芬

バックナンバー <https://www.sra.co.jp/public/sra/gsletter/>

お問い合わせ gsneo@sra.co.jp

